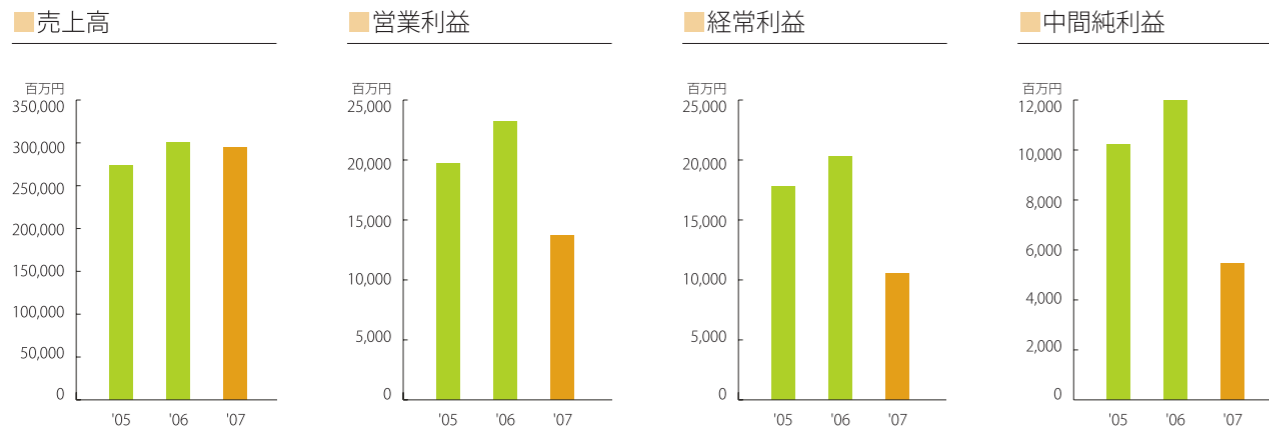


業績ハイライト (連結)

業績ハイライト (中間期)

科目	2005年度	2006年度**	2007年度*
売上高 (百万円)	274,230	300,574	294,277
営業利益 (百万円)	19,719	23,198	13,742
経常利益 (百万円)	17,781	20,315	10,545
中間純利益 (百万円)	10,226	11,978	5,476
1株当たり中間純利益 (円)	38.49	45.03	19.85

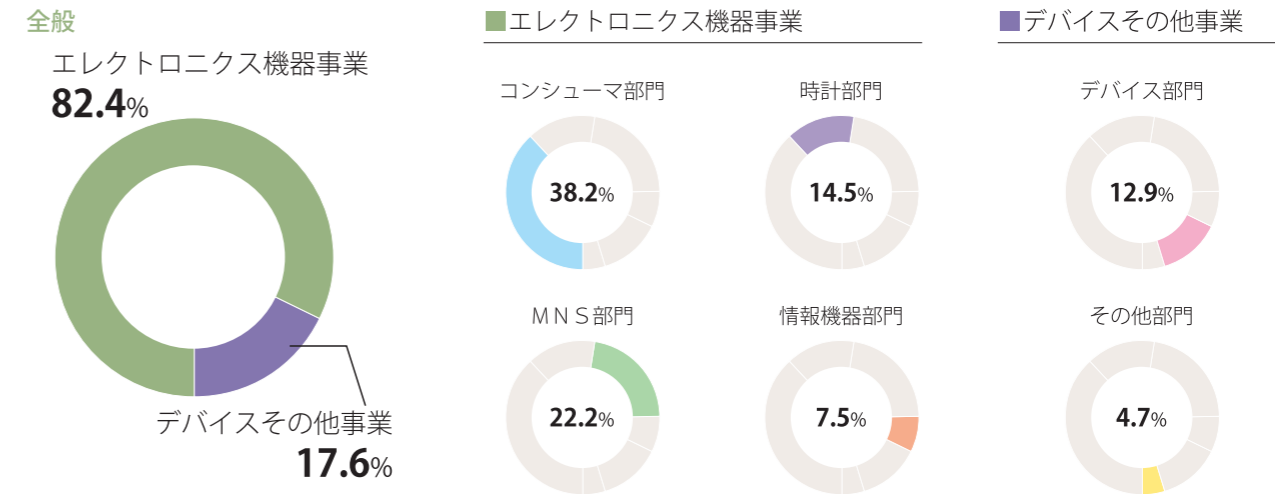
*2007年度より有形固定資産について改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。
 **2006年度より「役員賞与に関する会計基準」を適用しています。



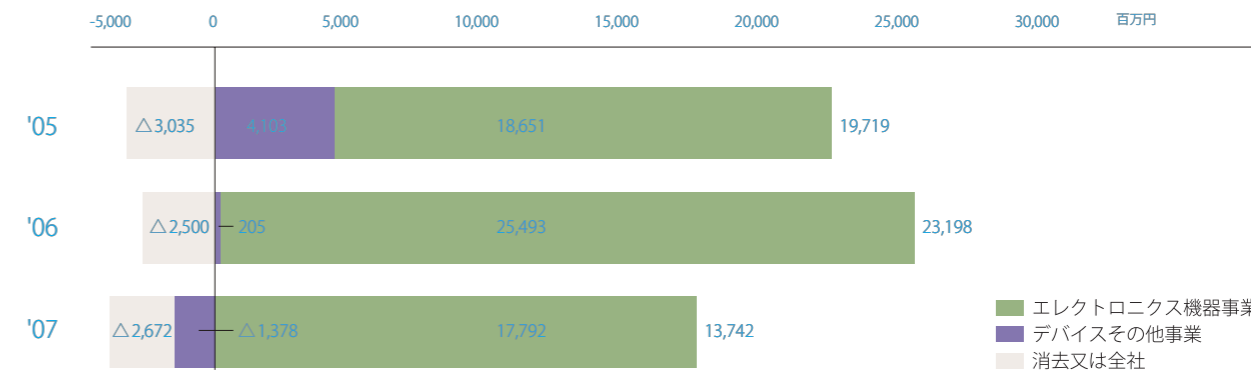
部門別の概況 (連結)

各部門別の概況をご報告します。

売上高の部門別構成比 (当中間期)



営業利益の概況 (中間期)



部門別の概況（連結）

エレクトロニクス機器事業

デジタルカメラ、時計、電子辞書は昨年に引き続き好調に推移しましたが、携帯電話、情報機器の減収により、売上高は2,424億円となりました。

デバイスその他事業

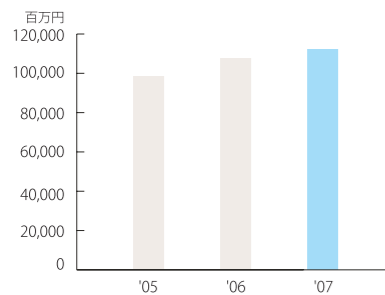
売上高は518億円となりました。

コンシューマ部門

売上高 **112,382百万円**

スタイリッシュなデジタルカメラとして高い支持を得ている「EXILIM」が、前期に引き続き好調に推移しました。当社の高度な技術をベースに、高圧縮・高画質ムービー、世界最大規模の動画共有サイトYouTube™ 対応など各種差別化機能を強化した新モデルを積極的に展開しています。また、業界シェアNo.1の電子辞書「EX-word」もネイティブ発音機能を強化した高付加価値モデルの販売が好調で、韓国をはじめとする海外展開とあわせさらに拡大しました。その結果、売上高は1,123億円となりました。

■売上高の推移（中間期）

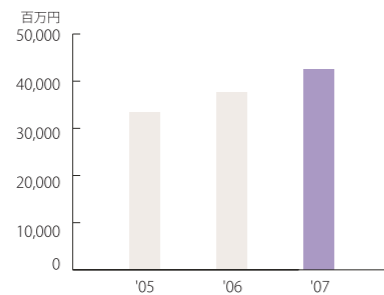


時計部門

売上高 **42,582百万円**

世界5局（日本2局、米国、ドイツ、英国）の標準電波に対応したフルメタル仕様、5モーター搭載の「OC EANUS」を主軸とした高価格帯モデルが好調に推移した結果、売上高は425億円となりました。

■売上高の推移（中間期）

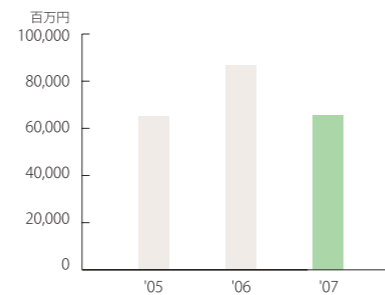


MNS部門

売上高 **65,519百万円**

優れた防水性能を備え、バスルームなどの水回りでテレビが楽しめる防水ワンセグケータイ「W52CA」と、カメラ性能を追求し、当社のスタイリッシュなデジタルカメラ「EXILIM」の名を冠した「EXILIMケータイW53CA」など戦略モデルが好調に推移しました。しかしながら、携帯電話が前年同期実績を超えることができず、また、部材の調達不足が生じたことから、売上高は655億円となりました。

■売上高の推移（中間期）

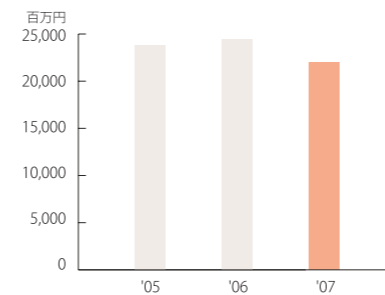


情報機器部門

売上高 **21,981百万円**

(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモと、「iD™」を中心としたクレジットサービスの電子決済関連サービスや、店舗の売上集計や分析が利用できる店舗支援サービスを提供する合弁会社「(株)CXDネクスト」を設立するなど新たなビジネス展開を図りました。しかしながら、単価下落の影響を受け、売上高は219億円となりました。

■売上高の推移（中間期）

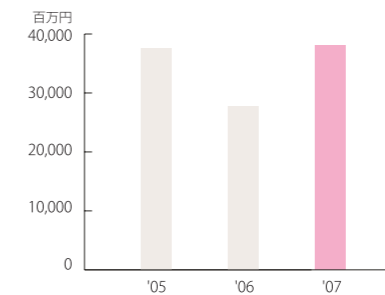


デバイス部門

売上高 **38,057百万円**

TFT液晶のデジタルカメラ向け需要が回復したことから、売上高は380億円となりました。

■売上高の推移（中間期）



その他部門

売上高 **13,756百万円**

売上高は137億円となりました。

■売上高の推移（中間期）

